



一宮町長
馬淵 昌也

今年も夏がやってきました。昨年は、全国的に恐ろしい暑さで、熱中症で体調を崩す方が多くおられました。その中で大いに話題になったのは、学校でのエアコン設置の問題です。あまりの暑さに、授業もできない学校が出てきて、なんでエアコンがついていないのか、ということになりました。自治体によっては、千葉市のように、設置率0というところもあり、大変な議論を呼びました。

一宮町では、一宮小学校・東浪見小学校・一宮中学校ともに、エアコンをつけてありましたので、幸いにも、これを稼働して、暑さをしのぐことができました。これは、町長就任直後に、私の判断で、3学校へのエアコン設置を2017年度の重点施策とした結果でした。昨年の酷暑の報道を見ながら、「エアコンをつける決断をしてよかったです」としみじみ思いました。

いま、日本社会では、公共施設のほとんどにエアコンが設置されています。なぜ、小中学校へのエアコン設置が遅れ気味だったのでしょうか。一つは、夏休みの存在だと思われれます。7月末から8月末まで、学校は夏休みになります。そこで、授業に差し支えるような暑い期間もそれほど長くない、という判断がなされたのでしょうか。し

かし、実は、9月になってもお彼岸頃までは暑い日が続き、ひと月以上も暑い中、子供さん方はエアコンなしで授業を受けなくてはなりません。他のところで、この期間をエアコンなしで過ごしましょう、といったら、大変な反対があると思います。

また、私も含め、子供の頃には、学校にエアコンなどありませんでした。しかし、それほど暑さに苦労した記憶もありません。そうした大人の経験から、子供さんは、少々暑くても平気だろう、という考えもあつたのではないのでしょうか。しかし現在のようになっているところにエアコンがあり、エアコンでの室温調整が当たり前の社会では、エアコンがない室内環境は大いに苦痛となるのです。しかも、今は温暖化で気温が昔より高くなっています。従って、現在の社会では、小中学校へのエアコン設置は、必須不可欠なのです。

なお、一宮中学校では、現在設置されているのは特別教室棟で、普通教室棟は、改修との兼ね合いから、今年度の設置となります。この工事が完成すると、一宮町の小中学校のすべての教室にエアコンがつきます。私としては、先生方には、暑い時はためらわず、エアコンをつけて快適に授業を行ってほしいと願っています。